

学校番号	406
------	-----

令和 3 年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	第3学年	Revised「ENGLISH NOW」English CommunicationⅡ（開隆堂出版） COMET 英単語（数研出版）

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・コミュニケーション英語Ⅱの授業は、コミュニケーションⅠを土台とし、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という4技能の力を更につける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。
- ・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということ意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。
- ・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2 学習の到達目標(CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標)

【第3学年】履修科目:「コミュニケーション英語Ⅱ」(4単位)

主な教材:上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・文全体の内容を把握して、短文ごとに意味を理解した状態で音読することができる。 ・既習の英単語、英文法、英語表現を用いて、簡単な対話をするができる。	コミュ英語Ⅱ ・定期考査 ・インタビュー 英語演習 ・定期考査 国際理解Ⅱ ・定期考査	・既習の英単語、英文法、英語表現を用いて、場面や状況に対する意見や考えを書くことができる。 ・教科書やまとまりのある英文について、文中の語句や語群の選択肢を使用して要約することができる。 ・身近な出来事について 50 語程度の英作文を書くことができる。	コミュ英語Ⅱ ・定期考査 ・ライティング 英語演習 ・定期考査 国際理解Ⅱ ・定期考査	・既習の 100 語程度の英文を聞いて、その内容を 50%程度理解することができる。 ・英検 4 級程度の英文を聞いて、正しく設問に答えることができる。	コミュ英語Ⅱ ・定期考査 ・リスニング 英語演習 ・定期考査 国際理解Ⅱ ・定期考査	・教科書に記された 150 語程度のまとまりのある文章を、辞書を用いて精読することができる。 ・既習内容について、文章の校正や展開を理解して読むことができる。また、理解した内容を基とした要約文を相手にわかりやすく音読することができる。	コミュ英語Ⅱ ・定期考査 ・音読テスト 英語演習 ・定期考査 国際理解Ⅱ ・定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観 点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (7 時間)	・バーカー先生が故郷の街について話をしている内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアやグループでの言語活動に、積極的に参加しているか観察する。	・各パートを読む前に、各国の朝食について知っていることを、ペアやグループで話す。	・グループやペアで作成したワークシートを提出させ、取組状況の判断材料として活用する。	・本単元を通して、各国の文化について深く考え、間違うことを恐れずに発表する。
		「外国語表現の能力」			
		・自分の故郷について、ワークシートに基づいて英文で書く。	・ワークシートを提出させ内容を確認し、取組状況を確認する。	・生徒自身の故郷について、ワークシートを用いて英文で書かせる。	・生徒自身が学んだ各国の文化を、英文で書かせる。
		「外国語理解の能力」			
		・ALT の故郷について、読んで理解する。	・各国の文化がどのようなものか、本文を読んで理解する	・各国文化がどのような関係にあるか、本文を読んで理解する。	・ALT の故郷にちて、本文を読んで理解する。
Lesson 2 (7 時間)	・英漢字(英語と漢字を組み合わせたもの)についての内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアやグループでの言語活動に、積極的に参加しているか観察する。	・各パートを読む前に、書道アートについて知っていることを、ペアやグループで話す。	・グループやペアで作成したワークシートを提出させ、取組状況の判断材料として活用する。	・本単元を通して、書道アートについて深く考え、間違うことを恐れずに発表する。
		「外国語表現の能力」			
		・書道アートについて、ワークシートに基づいて英文で書く。	・ワークシートを提出させ内容を確認し、取組状況を確認する。	・生徒自身が調べた書道アートについて、ワークシートを用いて英文で書かせる。	・書道アートについて英文で書かせる。
		「外国語理解の能力」			
		・書道アートの特徴を理解する。	・書道アートについて本文を読んで理解する	・日本の文化や日本的なものについて本文を読んで理解する。	日本的なものについて、本文を通して理解する。

Lesson 3 (7 時間)	・介助犬が果たす 様々な役割につ いての内容。	「言語や文化についての知識・理解」			
		・比較の用法を理 解し、使い分ける こと、または見極 めることができるよ うになる。	・本文に出てくる 単語の意味やイ デオムの確認を する。	・各パートの英文 を、日本語に訳す ることができるよ うになる。	・日本語訳を見 て、比較が用いら れている英文を書 けるようになる。
		「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアやグループで の言語活動に、 積極的に参加し ているか観察す る。	・各パートを読む 前に、介助犬につ いて知っているこ とを、ペアやグル ープで話す。	・グループやペアで 作成したワークシ ートを提出させ、 取組状況の判断 材料として活用す る。	・本単元を通し て、介助犬につ いての知識をどの ように得たのか考 え、恐れずに発表 する。
		「外国語表現の能力」			
		・介助犬につ いて、ワークシート に基づいて英文で 書く。	・ワークシートを提 出させ内容を確認 し、取組状況を確認 する。	・生徒自身が本 文を通して、どう 感じたか、ワークシ ートを用いて感想 を英文で書かせる。	・グループで介助 犬について調べ、 わかったことを英文 で書く。
		「外国語理解の能力」			
Lesson 4 (7 時間)	・日本独自の文化に いての内容。	・ことばを使わない コミュニケーション があることを理解 する。	・介助犬につ いて、本文を読んで 理解する	・介助犬につ いて、本文を読んで 理解する。	・介助犬がどのよ うな役割を果たす か、本文を通して 理解する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・名詞を修飾する 過去分詞を理解 し、使い分けるこ と、または見極め ることができるよ うになる。	・本文に出てくる 単語の意味やイ デオムの確認をす る。	・各パートの英文 を、日本語に訳す ることができるよ うになる。	・日本語訳を見 て、名詞を修飾す る過去分詞が用 いられている英文 を書けるよ うになる。
		「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアやグループで の言語活動に、 積極的に参加し ているか観察す る。	・各パートを読む 前に、日本の習 慣について知っ ていることを、ペア やグループで話す。	・グループやペアで 作成したワークシ ートを提出させ、 取組状況の判断 材料として活用す る。	・本単元を通して、 日本の習慣につ いてグループで意 見をまとめ、恐れ ずに発表する。
		「外国語表現の能力」			
		・日本の習慣につ いて、ワークシート に基づいて英文で 感想を書く。	・ワークシートを提 出させ内容を確認 し、取組状況を確認 する。	・生徒自身が本 文を通して、どう 感じたかワークシ ートを用いて感想 を英文で書かせる。	・本文の要約を英 文で書く。
		「外国語理解の能力」			
		・日本独自の文化 を理解する。	・日本の魅力につ いて、本文を読んで 理解する	・インタビューにつ いて、本文を読んで 理解する。	・日本の生活や習 慣について理解す る。

Lesson 5 (8 時間)	・パーソナルスペースについて学ぶ内容。	「言語や文化についての知識・理解」			
		・知覚動詞の用法を理解し、使い分けること、または見極めることができるようになる。	・本文に出てくる単語の意味やイディオムの確認をする。	・各パートの英文を、日本語に訳することができるようになる。	・日本語訳を見て、知覚動詞が用いられている英文を書けるようになる。
		「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアやグループでの言語活動に、積極的に参加しているか観察する。	・各パートを読む前に、パーソナルスペースについて知っていることを、ペアやグループで話す。	・グループやペアで作成したワークシートを提出させ、取組状況の判断材料として活用する。	・本単元を通して、パーソナルスペースについて考え、恐れずに発表する。
		「外国語表現の能力」			
		・パーソナルスペースについて、ワークシートに基づいて英文を書く。	・ワークシートを提出させ内容を確認し、取組状況を確認する。	・生徒自身が本文を通して、どう感じたか、ワークシートを用いて感想を英文で書かせる。	・本文の要約を英文で書く。
		「外国語理解の能力」			
		・人との距離の取り方について、理解する。	・距離感の違いについて理解する	・関係代名詞について理解する。	・本文について理解する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞 what について解し、使い分けること、または見極めることができるようになる。	・本文に出てくる単語の意味やイディオムの確認をする。	・各パートの英文を、日本語に訳することができるようになる。	・日本語訳を見て、関係代名詞 what が用いられている英文を書けるようになる。